





会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 研修部会	
開催日時	平成29年9月14日(木) 開会； 19時30分・閉会； 20時15分	
開催場所	行田市産業文化会館 第2会議室	
出席者(委員)氏名	阿久津彰良、笠原利子、堀内 規、古田和也、島田 喬、伊藤雅史、小林雅世、馬渡夏美、本木瑞穂、鈴木武則、澤田千尋、鳥塚智子、嶋田由紀子、加藤里美、川島 治、溝上俊亮	
欠席者(委員)氏名	小林永治	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会議内容	地域の医療、介護関係者の連携を実現するための研修について	
会議資料	(資料名・概要等)	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	主宰者記名押印	
29 年 10 月 12 日	阿久津彰良	
	笠原利子	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
阿久津委員	<p>開会</p> <p>川島会長 挨拶 注意事項</p> <p>自己紹介</p> <p>国立長寿医療研究センターの本を参考に資料作成。他職種間の相互理解を目標に事例をとおし理解が進むよう運営を図る。研修を重ね更なる広がり共通言語の理解、専門性の理解、就業上の問題点を更に深める。他職種間で意見が言い合える関係が構築される事を成果とする。専門性を発揮し医療と介護が連携する事で質の高い医療と介護を提供できる体制作りを目指す。10月以降移乗転倒防止を実施、年明け嚙下を実施予定。各研修は概ね2ヵ月に1回、もしくは3ヵ月に1回程度開催予定。係分担や会場を考える。</p> <p>過去4回行田市で多職種連携交流意見交換会が行われている。それを利用してよい。</p>
鈴木委員	<p>研修には、医療と介護関係者に必要な知識や技術技能、皆さんと一緒に地域の問題を解決していくグループワーク研修のふたつの捉え方がある。</p>
鈴木委員	<p>老人の心理とメンタルケアについて、悩みを聞くときに安心できる言葉、相手が待っている言葉、キーワードがあればよい。</p>
 澤田委員 	<p>認知症のメンタルケアも必要。いろいろな方達の関わり方を知ること自分の関わり方を振りかえる事ができる。</p>

古田委員	歯科医としての関わり方。認知症は歯の分野でも問題。
本木委員	在宅生活者の服薬管理を提案。軽度の認知症の方は声かけしてから薬を飲む。次回訪問すると薬が残っている。
鳥塚委員	複数のサービスに入っている場合共通認識をもつ事が大事。
島田委員	熊谷で同様の会に参加。高齢者体験をした後、話し合いをした。共通認識が大事。
堀内委員	何回予定しているか？時間は？ 認知症の問題は1時間では足りない。
阿久津委員	皆さんの理解が得られるまで研修に終りはない。 单元ごとにやる必要がある。
川島会長	2時間がひとコマ。平日の夜は2時間、休日は土曜の午後と日曜。
阿久津委員	職種の内容を知り、共通認識をもつことに目を向けていきたい。 これまであげていただいたものについて会議をしながら中身を詰めていく。
溝上委員	ICTの活用方法の研修、利用者情報の研修をやったらどうか？とICT部会より提案あり。情報共有の勉強会もあってもよいのでは。協議会の中で優先順位を決める。メールでやりとりする。
阿久津委員	今後の研修の予定は2~3カ月に1回でよろしいか？ 合同研修を年1回は入れたほうがいいかと思う。

嶋田委員	夜は長時間とれない。
阿久津委員	2時間が最大かと。
島田委員	1度の研修の時間を2時間で纏めたらどうか？
阿久津委員	以前行なわれた多職種連携合同意見交換会はおよそ2時間。 小さい研修を2～3ヵ月に1回と考えている。
小林委員	認知症対応力向上研修は3時間あったという間だった。2時間では足りないと思う。
阿久津委員	認知症の対応研修は看護協会が行なっている。半日要した。
島田委員	冬はインフルエンザなどの繁忙期を避けてほしい（1月～2月）。 4ヵ月に1回、そのうち1回他の部会と合同とする。
堀内委員	市の認知症検診が始まる。早めに研修を行なうとよい、合同でもよい。多職種がからむ為、検診が始まってから後手に回るのはなく、ある程度総論を初めに行なったほうがよいのではないか？
阿久津委員	総論というと？
堀内委員	介護では、認知症の方に限らず、ADLの低下のある方など介護が必要な方が置いてきぼりにならないようにできればと思う。
笠原委員	大きな研修を最初にやるのは心配。

阿久津委員	作業部会ができる前、協議会から移乗と嚙下の研修を実施して欲しいと意見あった。11月移乗をかわきりに、各論から纏める。
溝上委員	初級、中級、上級編に分けたらどうか 移乗の問題からやってはどうか？ 退院調整で嚙下の問題はでていた。
古田委員	母校で教授の嚙下の講演は聞いた。講演希望なら半年以上先をみないとならない。
笠原委員	市の歯科医師会の中にいらっしゃらないか？
古田委員	いないと思う。
笠原委員	今年は資金がない。来年お願いできれば。
溝上委員	市の予算を使うのには、計画が市にとって必要なものから判断される。補正予算を組むことは難しい。 この時期を過ぎてしまうと再来年度になるらしい。
阿久津委員	まずは小さいところから始め、組み立てていき、その中で予算を組んでいく。市内の皆さんの職種から講師をしていただきたい。
島田委員	研修の規模は？
阿久津委員	募集をかけてからどれくらいになるのか未知数。それから場所探す。参加費用はゼロ。研修の枠組みの費用として講師料は考えている。年何回やるかを決めなければ予算請求に繋がらない。 4回という形であれば、内1回が認知症を以前行なわれていた多

溝上委員	<p>職種合同意見交換会の形態で行う。今年は移乗を行い年明け後に嚙下、ICTの活用方法、利用者情報が入ることになる。</p> <p>無料の講師であれば何回でもかまわないか？</p>
事務局	<p>謝金など予算的な問題がなければ問題ない。</p> <p>会場は市が押さえる。</p>
阿久津委員	<p>次回予定は10月12日(木)、18時～(仮)。</p> <p>メーリングリストで議事録議題は事前に配布。欠席の場合メールで意見を送る。</p> <p>以上で終りにいたします。お疲れ様でした。</p> <p>閉会</p>